



編集後記

■昔のヨサコイチームの演舞前の口上が記憶に残る。指の先まで魂込めて。表紙の雅楽を目の前にその言葉思い出す。指揮者不在の奏法には自ずと体の先まで魂が込められるのではない。音も姿も、「美しい」と言うほかない。人の心に響くものを目指すときは、細部まで魂を込めるべきだ。仕事も同じと思う。

■薄暗い部屋からクワクスと少女の笑い声が聞こえます。おそろおそろ近づく私。そこには、広報ちとせの《編集後記》を読む娘の姿が…彼女が「面白かったよ」とニヤリ。私は背筋がヒヤリ。いつから私が書いていると気づいていたのだろう。いつもネタにしてごめんなさい。あ、娘よ、母は頑張っています。

1 7月2日。市議会議場で《市制施行60周年記念式》が行われました。先人から受け継がれたまちのさらなる発展に願いを込め、式典を締めくくると万歳三唱が議場に響きわたりました。

2 7月8日。泉郷で千歳市パリの会主催《親子農家体験》が開催されました。収穫した野菜を前に笑顔がこぼれる2人。パハも子どもも思い出に残る1日でした。

3 7月14日～16日。市役所駐車場で開催された夏の風物詩《スカイ・ピア&YOSA KOI祭》。今年は、空路交流都市プロモーションステージでのミス・ユニバース北海道代表・豊澤さん（写真左端）のゲスト登壇や、千歳市観光PR大使の歌手・水森かおりさんの歌などが披露されました。

5 7月22日。千歳の一大イベント《航空祭》が開催されました。2年ぶりとなるブルーインパルスやトップパイロット・室屋さんの圧巻の曲芸飛行などが披露、さらに退役する政府専用機2機が初めて最後の共演を果たし、B747の最後のお務めに、盛大な拍手が送られました。

7 7月29日。今年で開館30周年の図書館で開催された《図書館まつり》。コンサートや演奏会など、趣向を凝らした催しを楽しむ来場者でにぎわいました。

今月の表紙

世界最古のオーケストラと呼ばれている《雅楽》。千歳神社秋季例大祭での演奏に向け練習にも力が入る千歳神社雅楽会の皆さんを訪ねました。日本古来の重みのある伝統音楽が夏の夜に響きます。



7月23日
千歳神社 社務所内で撮影